

2025 年度

明海大学大学院

応用言語学研究科

博士前期課程 A 日程

専門科目試験問題

**注 意 事 項**

- 1 解答開始の合図があるまで、この問題の中を見てはいけません。
- 2 応用言語学に関する小論文は全員が解答してください。
- 3 日本語に関する専門知識・英語に関する専門知識・中国語に関する専門知識は、1 題を選択して解答してください。

2025 年度大学院応用言語学研究科博士前期課程入学試験問題

No. 1/1

| 日 程  | 研 究 科    | 区分                  | 試験科目         |
|------|----------|---------------------|--------------|
| A 日程 | 応用言語学研究科 | 一般<br>社会人<br>外国人留学生 | 応用言語学に関する小論文 |

問題 1. 次の問いに答えなさい。(この問題については必ず答えること。)

あなたが本大学院(応用言語学研究科)において、取り組もうとしている研究分野についての内容を詳しく述べてください。(またその研究分野における代表的なことがらやそれに関連する研究の内容、そしてその動向などを含め、具体的な例を挙げて述べてください。)

問題 2. (1)から(8)まで1問を選択し、解答しなさい。

(1) 「オーディオリンガル・メソッド」について論じなさい。

(2) 認知文法におけるトラジェクターとランドマーク (trajector and landmark) について説明しなさい。

(3) 外国語教授法における「文法訳読法 (Grammar・Translation Method)」と「直接法 (Direct Method)」の特徴、両者の相違点、それぞれの教授法がもつ利点や欠点について説明しなさい。

(4) ピジン語やクレオール語は、どのような生成過程を経ているのか、具体的な例を挙げて説明しなさい。

(5) 破擦音とはどのような音声か。日本語に現れる破擦音の音声記号を一つ以上とりあげ、どのように発音されるか説明しなさい。とりあげた破擦音が含まれる語例も提示すること。

(6) 「日本」を「ニホン」と読むのか「ニッポン」と読むのか、なぜこのような問題が生じるのか、わかりやすく説明しなさい。

(7) ヒトの言語が線形順序 (Linear orders) だけでなく階層構造 (Hierarchical structures) を持っているという仮説の是非を、実際の例文を挙げながら論じなさい。

(8) 外国文学の影響が認められる文学作品について、例を挙げて述べなさい。